



AIG 高校生外交官渡米・日本プログラムの紹介（現高1・高2限定）

保険会社 AIG とフリーマン財団が協賛し、AIG 高校生外交官プログラム実行委員会が主催する渡米型と日本国内型の2種類のプログラムをご紹介します。両プログラムとも個人的費用を除いては移動・宿泊に伴う費用負担はありません。以下プログラム別に概要をお知らせします。

【渡米プログラム】

派遣人数：合計20名（男女各10名）

派遣先：ワシントン DC・バージニア大学 など

期間：2026年7月18日（土）～8月2日（日）予定

7月18日にオリエンテーション会場集合、20日渡米、8月2日帰国・解散

訪問先：ツアーパート

ワシントン DC 国務省、議会議事堂、IMF/世界銀行、議会図書館

アーリントン国立墓地、トーマスジェファーソンメモリアル 等

エクスチェンジパート

米国側高校生とルームメイトとなり、バージニア大学の寮で共同生活をしながら、様々なアクティビティを体験する。午前は語学と文化を学ぶクラス、午後はディスカッションを含むアクティビティや自国を紹介し合うプレゼンテーション、アメリカ文化体験（ハロウィン、プロム等）、スポーツ など

費用：解散場所から自宅までの復路飛行機代、新幹線代、米国渡航費、米国内交通費、滞在費、食費、教材費、プログラム参加に関する費用は主催者側の負担

但し、プログラム参加時の飛行機・新幹線・在来線・バスなどの交通費、パスポート・ESTAの申請費用、検査・検査キット購入、予防接種、買い物、小遣い、電話代等は参加者負担

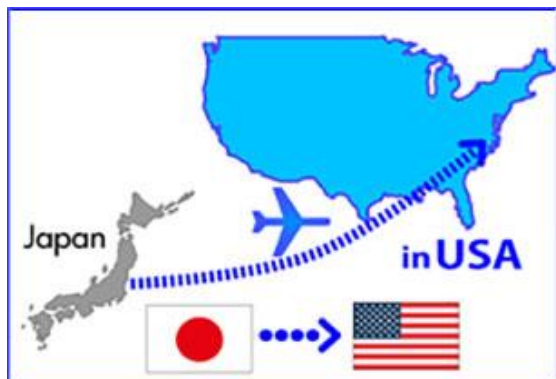
応募資格（一部省略して列挙します）：

- ① 1校からの応募は日本プログラムと合わせ4名まで（共学校の場合は男女各2名まで）
- ② 高等学校在学中で、所属学校長の推薦を受けた者
- ③ 2026年7月現在で高等学校2学年又は3学年に在学している者
- ④ 保護者の承諾を受けた者
- ⑥ 合格後の準備期間からプログラム終了後の解散まで全てのプログラムに他の参加者と一緒に参加できる者（合格後オンラインでの準備に参加できない方は参加を取り消す場合もあります）
- ⑦ 抗原検査の実施、ワクチン接種状況の情報提供に協力できる者
（新型コロナワクチン接種証明書及びPCR検査陰性証明書の提示が必要になる場合があります。状況によっては追加のPCR検査の実施のお願いをする場合も有り。）
- ⑩ 中学入学以降合計365日以上海外滞在経験を持たない者（留学・旅行も含む）

選考方法

- ①一次選考 書類選考 3月初旬までに学校・応募者宛にメールで通知
- ②二次選考 面接（日本語・英語）・グループ実習
3月20日（金・祝）・21日（土）のいずれか指定された1日
（生徒側では選択不可）に Web 会議ツールを使用しオンラインで実施予定
結果は4月初旬に学校・応募者にメールで通知

（以下の画像は公式 HP より転載）



【日本プログラム】

人数：合計16名（男女各8名）

会場：関西地区宿泊研修施設

期間：2026年7月23日（木）～8月3日（月）予定

7月23日（木）昼頃関西地区宿泊研修施設に集合、8月3日（月）午前中に最寄り新幹線駅もしくは伊丹空港にて解散

内容：米国より選抜された高校生と日本国内での共同生活を通し、「高校生外交官」として国際交流を体験

クラブ活動：日米参加者が日本文化のクラブに所属。日本側参加者がリードし米国側参加者が日本文化を習得する。（例：茶道、書道、舞踊、剣道、柔道、空手、百人一首など）

ディスカッション：日米参加者が様々な議題について議論する（例：教育、政治、社会問題、戦争と平和、アイデンティティと価値観、キャリアプラン など）

プレゼンテーション：日米参加者がテーマ別のグループに分かれ、自国を英語で紹介し合う（例：教育、政治、地域性、社会問題 など）

語学・文化クラス：米国の教師による、語学と文化を学ぶクラス

その他(過去の例)：京都史跡巡り、アメリカ文化体験、ダンスパーティー、スポーツ大会など

費用：プログラム参加時の往復飛行機代、新幹線代、滞在費、食費、教材費、プログラム参加に関する費用は主催者側の負担

但し、プログラム参加時の在来線・バスなどの交通費、検査・検査キット購入費用、予防接種、スーツケース郵送費、買い物、小遣い、電話代等は参加者負担

応募資格：渡米プログラムと基本的には共通ですが、日本プログラムについては「海外渡航経験は問わない」という記述があります。

選考方法：渡米プログラムと日程・内容共に共通

(以下の画像は公式 HP より転載)



【校内募集スケジュール】

渡米プログラムと日本プログラムはどちらか一方を選択するだけでなく、併願することも可能です。1校から上限4名までという制限があるために応募状況によっては校内選考が必要になります。その後生徒によるエッセイの執筆・保護者同意書・学校長推薦書の作成・送信という手続きを踏む必要があるために、本校では以下のスケジュールで準備を進めます。期限を1日/1分でも守れない場合は校内選考のチャンスを失うものをご理解下さい。

校内エントリー：1月10日（土）午前8時（時間厳守）までにグローバル教育部（2号館2階）に下記の書面を提出して下さい。火曜日は担当者が不在です。

提出物：A4サイズ用の紙に以下の要件を全て満たして提出して下さい。PC・手書きいずれでも結構です。

①クラス・番号・氏名②メールアドレス③渡米・日本プログラムどちらを選択するか又は併願を希望するか意思表示④保護者の承諾は得られているかの確認（確認が取れているなら「確認済み」と記入）⑤プログラム参加への動機・意欲（字数は問わない）

選考：応募人数に応じて選考を実施します。

プログラムの詳細は以下の公式 HP からご確認下さい。

<https://www.highschooldiplomats.org/index.html>

本校から今夏渡米プログラムに参加した生徒のレポートがグローバル通信155号に掲載されております。以下の URL よりご覧いただけます。

<https://www.kaijo.ed.jp/wp-content/uploads/2025/09/cfa017bca361d30a7e158a7faf34fc60.pdf>

東京都教育委員会主催高校生国際会議（中1～高3対象 無料）

このイベントはプレゼンターによる基調講演を聞いて、国内外の生徒と英語で意見を伝え合い、今後私たちがどうしていくべきか、提言をまとめて発表するものです。ファシリテーターのサポートがあるので、英語力に自信がなくても大丈夫です。オンサイト（対面）またはオンラインで参加できます。

【日時】：2026年2月15日（日）12時30分～15時15分

【メインプレゼンター】：パトリック・ハーランさん（お笑い芸人）

【基調講演テーマ】：「コミュニケーションの力で未来を切り拓く」

多様な国際社会の中で、異なるバックグラウンドを持つ仲間とのつながり、過去と未来をつなげていくコミュニケーションの重要性について、自身の経験を交えながら語っていただきます。

【分科会】（分科会出演者は事前学習動画に出演。イベント当日の出演はしません。）

(A) 国枝 慎吾さん（元プロ車いすテニス選手）「世界を舞台にした挑戦」

長年第一線で活躍した経験を交えて、高いパフォーマンスを発揮するための重要なポイントなどを語っていただきます。周りの人とコミュニケーションを取りながら困難を乗り越えていく方法について、一緒に話し合ってみませんか？

(B) 野口 聡一さん（元宇宙飛行士）「国境を越えたチームワーク」

多国籍チームでミッションを乗り越えた経験を交えて、国境を越えたチームワークの大切さを語っていただきます。国内外を問わず、背景が異なる人々と協力して物事を進める方法について、一緒に考えてみましょう！

(C) 琉水亭 はなびさん（落語家）「グローバル展開を通じた伝統文化の継承・発展」

落語を世界に発信する経験を交え、自国の文化の理解や国際的に広げていくことの重要性などを語っていただきます。自国の伝統文化を見つめ直し、未来に残す方法について、一緒に考えてみませんか？

【会場（オンサイト）】：大手町プレイスホール&カンファレンス（千代田区大手町2-3-1）

オンラインの場合は別途入室方法などがメールで案内されます。

【人数】各分科会20名程度

【受講の流れ】応募（分科会（ABC）から1つを選択



メインプレゼンター及び選択した分科会の事前学習動画を見て準備



当日 基調講演・分科会ごとにディスカッション（ファシリテーターのサポートあり）・全体発表・講評

【申込】2026年1月9日（金）16時から先着順

「高校生会議」となっておりますが、都内在住・在校の中学生も参加可能です。

以下のURLより各自でお申し込み下さい。その際申込コードの入力が求められます。そのコードをウェブサイトに掲載することを控えるように東京都教育委員会より要請を受けております。面倒かとは思いますが、申込コードは個別にお知らせしますので始業式当日にグローバル教育部まで来室をお願いします。

URL：<https://www.tec.metro.tokyo.lg.jp/events/highschool/>

高校生 国際会議

世界の高校生と英語で
ディスカッションしよう!



基調講演

コミュニケーションの
力で未来を切り拓く

メインプレゼンター

パトリック・ハーランさん

お笑い芸人



世界を舞台にした
挑戦

國枝 慎吾 さん
元プロ車いすデニス選手



国境を超えた
チームワーク

野口 聡一 さん
宇宙飛行士・東京大学特任教授



グローバル展開を通じた
伝統文化の継承 発展

琉水亭 はなび さん
落語家

開催日時

2月15日(日) 12:30-15:15

オンサイト会場

大手町ブレイスホール&カンファレンス

オンサイトまたは
オンラインで参加しよう



詳細・お申し込みはコチラ!

*東京都教育委員会から学校に届いた文書には中学生が対面参加をする場合には保護者による会場までの送迎が必要との記載があります。

プログラム (予定)

30分	集合・アイスブレイク
5分	オープニング
15分	基調講演
15分	休憩
40分	分科会
15分	休憩
50分	全体会
5分	メインプレゼンターによる講評

今年最後のグローバル通信をお届けします。今年もご愛読ありがとうございました。国内外を問わず自然災害・戦争・人権・ディープフェイクなど課題山積ですが自分ごととして捉える視点を養いたいものです。どうか良いお年をお迎え下さい。